

昨年、ようやくCovid-19(新型コロナウイルス感染症)対策が緩和され、普通の生活が戻ってきました。その「普通の生活への移行」の中で、重症心障害児者施設関係で何といっても大きかった一つが面会制限の撤廃ではないかと思えます。昨年5月、新型コロナウイルス感染症が感染法上2類相当から5類相当に変更されたことで重症児者施設も含め多くの施設で面会が解禁になったわけですが、しかし、そもそも、面会制限がクラスター発生阻止に本当に必要なのかという批判がずっとありました。新型コロナウイルス感染症は未知の感染症でしたから、その対策は手探り状態で、中には、いきすぎた面があったのは否めません。中国のゼロコロナ政策などはその典型ですが、日本では面会制限もその一つだったかもしれません。たしかに、とくに高齢者では、新型コロナウイルス感染症は死に直結しました。ですから、なんであれ、感染の可能性は全て裁ち切るのが正義と考えられてしまいました。しかし、そのために、家族との接触が断ち切れ、重症児者の方は想像以上に悲しい思いをされました。そのことは、面会制限が解除されてからの表情の変化から、改めて思い知らされることになりました。



しかし、普通の生活が戻ってくるとともに、普通の感染症も戻ってきました。それも、おかしな形で。

現在、猛威をふるっているのは何といってもインフルエンザですが、このインフルエンザ、昨年は猛暑の夏がまだ終わらないうちから姿を現わしました。そして、真夏日がまだ続いていた9月に警報レベルにまで流行が拡大、秋からは爆発的な流行となり、豊川でも毎日のようにどこかの小中学校で学級閉鎖がなされていました。普通、インフルエンザというのは冬の感染症です。木枯らしが吹き、皮膚の脂気がなくなるほどに空気が乾燥してくると、カラカラに乾いて防御が低下した気道を狙って増殖するのがインフルエンザウイルスということになっていました。事実、昨年1月から小流行があったのですが、いつも通り、3月には収束していきました。ところが昨年は冬を待たず、夏がまだ終わらないうちから流行し始め、爆発的な流行に到ったのです。

逆のパターンもあります。咽頭結膜熱です。発熱、咽頭痛、結膜炎(目の発赤)がみられるアデノウイルスによる感染症で、感染力が強く、プールで泳いだ子どもたちの間で広がってしまうことから、別名、プール熱とも呼ばれます。この別名からもわかるようにいつもは夏に流行する感染症ですが、昨年は秋から冬にかけて流行りました。

感染対策というのは本当に難しいですね。純粹に感染予防というのであれば、新型コロナ感染流行真っ盛りに行われた厳しい感染対策はたしかに有効でした。しかし、その対策は新型コロナ感染以外の感染症にも有効で、このため、感染症に対する全体としての免疫力の低下を招いたようです。感染対策緩和後の季節外れの感染症の爆発は、おそらく、それが原因でしょう。中国ではこれがもっと激しい形で起きているようです。

その上、厳しい感染対策がもたらした生活への影響は甚大なものでした。面会制限はその典型だったわけですが、感染という生物学的現象と人の生活の質はその性格が別物で、そもそも、比較ができません。ただ、感染は感染者数、死亡率といった数値化が可能ですが、面会制限によって家族に会えない

重症児者の方々の悲しみ、諦念は数値化できません。過去3年のコロナ騒動では、数値化されたものが数値化できないものを押し流す傾向が強かったといえます。このことを肝に銘じて今後対応する必要があるでしょう。それが、過去三年間に学んだ重要な教訓の一つのような気がします。



令和6年元旦

信愛医療療育センター 麻生幸三郎

～入所部門～

コロナ禍では窓越しやZOOMでの面会でしたが、6月より直接面会が再開しました。今回は直接面会の様子についてご報告します。



【母】「げんき？いつもみなさんによくしてもらって、よかったね」

【職員】面会をととても楽しみにしており、今日も朝からとても表情よく、発声も多いです。お母さんが来るのを待っていました。

【母】よくわかっていると思います。自分の気持ちを言葉で伝えることは難しいですが、ちゃんと（表情や発声で）伝えてくれているんですね。

Q.直接面会してどうでしたか？

【母】ぜんぜん違います。見ていてよく分かります。やっぱり直接（肌に）触れるっていいですね。ほら、こんなにうれしそう。私（母）も頑張らなきゃって思います。

Q.ZOOM面会に期待すること、ご要望等ありましたら教えてください。

【母】月1回、直接面会ができるようになってよかったです。これからも直接面会ができればと思います。

昨年の夏、入所部門にてコロナが流行し、利用者の方々、ご家族の皆様には大変ご心配をおかけしました。引き続き、感染対策には十分留意しながら、ご家族との直接面会の機会を大切にしていきます。

9月に豊川市長選挙の期日前投票に行きました。事前にスタッフが投票の意思を確認し、当センターにて投票所を開設することや、期日前投票に出掛けるなどして、投票をしています。「もう一回見たい」「読んで」とあらかじめ立候補者の公約を読んだりすることで、当日の選挙では選挙管理委員会の方に誰に投票をするのか、自分で思いを伝えることができました。

選挙は国民の権利です。事前に候補者のことを知ることで、ご本人の意思で投票をすることができました。日常生活の中でも、利用者一人一人の意思を尊重しながら丁寧に寄り添っていきたくと思います。



9月に「福祉コンサート」があり、ライフポートとよはしに出掛けてきました。演奏するのは「名古屋フィルハーモニー交響楽団」本物のオーケストラです。会場までの案内などは多くのボランティアの方々のご協力がありました。

舞台までの距離は・・・右の写真のように、何と最前列！スペースはとても広く、ゆったりと観覧することができました。初めは楽器の音にビックリする方もいましたが、演奏が始まると身体を揺らして楽しそうにしていました。CDでは味わえない本物の楽器の音に心踊りました。

なかなか外出する機会がなかったので、これからもこのような機会が作れるようレクリエーションの充実を図っていきます。



天候等による日程変更もありましたが、送迎車に乗って買い物レクに出掛けました。外出先のお店では、どなたも周りの景色や音を楽しみながら、普段のレクリエーションでは見られない程の笑顔や真剣な表情もたくさん見られました。店員さんとも交流ができ、楽しい時間を過ごしました。今回はレクに参加された方にインタビューをしましたので、報告します！

Q,外出レクはどこに行きましたか？

ドン・キホーテだよ。

Q,「外出レクに行く」って聞いたときはどんな気持ちになりましたか？

コロナがあって最近外出レクに行けてなかったからうれしかったよ。

Q,ドン・キホーテでは何をしましたか？

抱っこをしてもらってゲームをしたよ。ゲームがやりたかったんだ。クレヨンしんちゃんのキーホルダーが欲しかったんだ。自分で（レバーを）動かして狙って見たんだけど難しかった。何回か挑戦したんだけど取れなかったんだ。

Q,ゲームをした時はどんな気持ちでしたか？

真剣だったから覚えていないな。でもドキドキしたよ。

Q,ゲームの後は何かしましたか？

移動してたらガチャガチャがあったから、ガチャガチャしたよ。かわいかったから、すみっコぐらしのガチャガチャをしたんだ。うれしかったよ。

Q,最後に何か一言ありますか？



生活介護めぐみ



インタビューにご協力して頂きありがとうございました♡

信愛こども発達
支援センター



7月に買い物レクに出掛けました。レクリエーションのお手紙を配ってからは、子どもたちや保護者の方々から「楽しみ」「素晴らしい企画をありがとう♪」との声がたくさん挙がりました。レクリエーションの様子をお伝えします。

今回は「シャトレゼ」さんに協力して頂き、ありがとうございました。社名であるシャトレゼの言葉の意味を皆さんはご存知ですか？フランス語でシャトー（城）レザン（ぶどう）を合わせ、ぶどうの城という意味でつけられたそうです。



当日はワクワクした顔や、どこにいくんだろう？と不思議そうな顔など、普段とは違った表情を見せてくれました。

さあ、信愛に戻って、スイーツタイム！部屋中に甘い香りが広がりました。スイーツを食べるみんなの表情は幸せいっぱい。自分で選び、自分でお金を払って購入をし、友だちと一緒に食べるスイーツは特別な味がしたかな？



第34回 重症心身障害療育学会 学術集会



昨年10月に宮城県仙台市にて行われた「重症心身障害療育学会 学術集会」へ、病棟職員の八木沼桂介

(児童発達支援管理責任者)、居澤朋子(心理担当)の2名が参加し発表しました。今回は、発達支援として多彩な職種による連携と情報共有を図りながら、利用者さんの表出される行動を分析し、感じている希望や思いを明確にして対応した結果、安心して過ごすことが可能になったケースについて紹介しました。

全国の重症心身障害児・者施設にて、社会の発展と共に支援やケアの質の向上を求めて、研究された内容や成功事例の報告等の発表がありました。現代社会に合わせて、ICT(情報通信技術)機器の活用としてインターネットを使用した調整。QRコードを活用した物品の確認や日常生活の中で身近に感じる物品を活用した対応、ユニバーサルデザイン(年齢、性別、文化に違い、障害の有無によらず、誰にとっても分かりやすく、使いやすい設計)として関節の変形が強い方も使用できる衣類の開発等、多彩な内容を勉強させて頂くことができました。



かない

生活介護で結成をした「奏生ストリングス」ですが、こども発達支援センターや相談支援事業所のメンバーが入部をし、ピアノやベースなどの新たな楽器も加わりパワーアップしています。

10月は「レインボーフェスタ」と「竹あかりの夕べ」に出演しました。レイン

ボーフェスタでは2曲演奏し、「虹」の演奏では他事業所の子どもたちも一緒に歌ってくれて

盛り上がり、とても嬉しかったです。今回は職員のみでの参加でしたが、今後は利用者の方々と一緒に演奏できればと思います。

竹あかりの夕べは昨年度に続き新曲も交えながら演奏をしました。私たちの演奏を見ていて他のグループの方が二胡や太鼓、ギターなどで即興でコラボレーション！心地よい演奏に私たちが演奏をしながらうっとりしてしまいました。様々な方々と心をひとつにしてこの空間を共有できたことは、かけがえのない経験となりましたし、ボランティアの活動を通して私たち職員がたくさんのことを学ぶよい機会となりました。

下の写真は竹あかりのイベントの様子です。昨年よりも竹の大きさがバージョンアップしており、大きな竹に描かれている繊細な模様感動をしました。今後もいろんなボランティア活動に参加していきたいと思っています。



スタッフ募集中！！
私たちと一緒に
働きませんか！！



信愛グループや施設内の様子については、Facebookやインスタグラムにも投稿しています。また、各事業所や職員採用についても情報がありますので、ぜひチェックしてみてください！

 Facebook



 Instagram



SHINAL.RYUUIKU

～令和6年度 利用者募集～

- 医療型児童入所・療養介護 若干名
- 生活介護 若干名
- 信愛こども発達支援センター 若干名

見学なども随時受付中です。
☎0533-95-0980までお問合せ下さい！！